

事務事業名	市道宇治三代線道路改良事業(企業団地関連道路整備事業)	所属部	建設部	所属課	都市計画課	
総合計画体系	政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	スマートIC整備G	課長名	藤原 昌弘
	施策名	<37>商工業の振興	担当者名	渡部 高志	電話番号	0854-40-1064
	目的: 対 商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。		(内線)	2462
	基本事業名	<108>新たな雇用の場づくり	予算科目	会計: 014003 款: 101507 大事業名: 市道道路整備事業 中事業名: 企業団地関連道路整備事業		
目的: 対 雲南市への進出に意欲のある企業及び市内事業所	意図	市内で事業拠点を新設・増設し、雇用を拡大する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H26 年度 ~ R3 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 神原企業団地に向かう国道54号からのアクセス道路として、宇治西農道(W=6m)を拡幅(2車線と片側歩道)、線形を改良する。 【整備延長L=1,080m、幅員W=9.75m】

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) ・歩道工事 (L=110m) 歩道部を含めた全面供用開始。	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) ・カルバート照明工事 (N=13基)			
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 整備延長	m	430	1,080	110	100
	イ 供用延長(累計)	m	0	1,080	1,080	1,080
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	市道及び市道利用者	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 整備計画延長	m	1,080	1,080	1,080	1,080
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 整備率(供用延長)	%	0.0	100.0	100.0	100.0
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)		
【地方債】合併特例債 【現年】 工事費 15,435千円 計 15,435千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	63,568	187,703	9,678	
		県支出金	千円					
		地方債	千円	59,800	148,100	5,400	4,200	
		その他	千円		4,800			
		一般財源	千円	3,329	3,161	357	200	
		事業費計(A)	千円	126,697	343,764	15,435	4,400	
		人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
			延べ業務時間	時間	1,500	1,500	1,500	
			人件費計(B)	千円	6,498	6,360	6,312	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	133,195	350,124	21,747	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
神原企業団地が令和元年度に完成して分譲が行われた。また、加茂BSスマートICの工事に着手された。	設計時に線形や工法検討によるコスト削減を図り事業費の抑制に努めた。	神原企業団地の分譲(令和元年度)に合わせて供用開始を求められていた。令和3年度に全面完成予定。

事務事業名	市道宇治三代線道路改良事業(企業団地関連道路整備事業)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	交通量や受益状況から道路規定を決定しているため、向上の余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	神原企業団地へのアクセス道路として整備しているため、企業団地整備へ影響が生じる
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	設計測量については業務委託をしているが、用地買収や工事費積算は守秘義務があり困難である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
令和元年度に神原企業団地が分譲され、加茂BSスマートICも工事着手された。宇治三代線は令和3年度に全線完成予定。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					